

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 30 年 5 月 20 日 (日) 10 : 00 ~ 11 : 30	開催会場	桜ヶ丘地区センター
出席議員	川上文浩、勝野正規、林則夫、天羽良明、伊藤壽 渡辺仁美、可児慶志、板津博之、野呂和久、田原理香		
班長	板津博之		
参加者数	13 名		
実施内容	議会のトピラにより平成 30 年度決算審査報告及び意見交換会		
質疑および 主な意見 等	<p>< 1 グループ > 報告者 <u>天羽 良明</u> 記録者 <u>林 則夫</u> テーマ「議員の定数と報酬について」</p> <p>A : 何日ぐらい働いているか。一所懸命議員はやっていけばいい。 退職金や年金がないのは驚いた。</p> <p>答 : 議員や委員会、役職にもよるが、市役所に 2 1 日から 2 5 日登庁 する議員、週末も各種行事で、休みなし。</p> <p>D : 賞与も明記しておくべき。職をもっている人が多いか。</p> <p>B : 4 0 万とは思ったより少ない。</p> <p>『総務企画委員会所管分』</p> <p>D : 可児市の財政力について、苦しいのか、良好なのか？</p> <p>C : 財政が良いなら、若い人にとってサッカー場が欲しい。</p> <p>答 : 6 0 0 億円の予算規模ですが、財政力指数は現在良好です。</p> <p>『建設市民委員会所管分』</p> <p>B : 街並み整備、渋滞緩和のため電線の地中化の提案あり。</p> <p>A : 桜ヶ丘から桂ヶ丘への新道建設を求めている。リニア開通やトンネル工 事完了後渋滞予想あり対策が必要だ。</p> <p>答 : 市道 2 7 号線の渋滞は確かにひどいので、トンネル西側の交差点改良工 事が計画されている。</p> <p>C : 観光交流の促進を望む。半分青いで岩村では、地域のボランティアなど 住民のおもてなし活動が進んでいる。住民が楽しんでいる。 明智光秀 をチャンスにしたい。</p> <p>答 : 経済が活性化するように可児市住民のお力をいただきたい。</p> <p>『教育福祉委員会所管分』</p> <p>C : 救急医療体制について 木沢病院移転後、移転先が奥まで遠くなると心 配である。可児とうのう病院の救急医療体制を整えておくべき。</p> <p>C : 認知症カフェへの行政のバックアップをして欲しい。また、地域サ ロンとの連携をしてはどうか、地域ではどっちにいけば良いか迷う。</p> <p>D : 入学式に出席したが、入学児童の減少が顕著になってきた。増加策が必</p>		

要だ。

< 2グループ > 報告者 伊藤 壽 記録者 渡辺仁美

テーマ「議員の定数と報酬について」

- ・報酬については、民間企業の一般的な管理職レベルと同等でよいと思う。現行の額を年収で見れば決して低いとは言えない。
- ・報酬に見合うだけの議員の質の向上が必要である。
- ・議員自ら定数を検討するということ自体には拍手を贈りたい。
- ・しっかり活動してくれれば月額 45 万くらいでもいいと思う。
- ・一般質問の内容（レベル）から判断すると定数を減らした方がいい。
- ・一般質問で現状を聞く質問が多いし、ちょっと調べればわかるような内容が多い。
- ・議員の資質に格差がある。
- ・定数を減らして、報酬を上げればいい。
- ・地域代表で選ばれている議員がいる。可児市全体の立場での意見になっていない。
- ・一般質問をしない議員がいる。
- ・会期中でない期間（普段）の活動がみえない。
- ・もっと市民の多様な意見に耳を傾けて欲しい。
- ・専門性を持たせるためにも常任委員会を 3 つにするのは賛成。
- ・ひとつの委員会の定数の決め方がおかしいのでは。
- ・地域ごとの人口とのバランスも見て定数を決めた方がいい。

『総務企画委員会所管分』

「岐阜医療科学大学について」

- ・岐阜医療科学大学への 18 億円もの投資は見直すべきである。
- ・薬学部開設が延期されたのはなぜなのか 看護学部の定員オーバーによって申請できなかった、と説明。
- ・定員オーバーという初歩的なミスで申請できなかったというのはおかしい。
- ・考え方によっては確信犯ではないか、可児市が馬鹿にされているように思う。
- ・18 億もの予算であれば、例えば企業誘致とか他の目的に使った方がいいのではないか。

『建設市民委員会所管分』

「行政と自治会との関係性について」

- ・自治会に若い人が転入してきたら強制的に加入金をもらうのではなく、逆にお金を払ってあげたいくらいだ。
- ・市の政策と自治会の政策（考え方）を一致させないといけない。
- ・市（行政）が自治会の様々な問題について自治会任せにしておくのはおかしいのではないか。
- ・行政にはもっと積極的に自治会の問題に関わってもらいたい。

『教育福祉委員会所管分』

「高齢者施策について」

- ・地域の高齢者は元気だが、久々利地区は広すぎて高齢者が集まりにくい。
- ・地域ごとに交通の利便性や居場所づくりなど事情が違うので、行政には高齢者を外に出させる施策を考えてもらいたい。

『その他』

「予算について」

- ・予算については、高齢化や人口減少からくる問題にそくした内容となっているのか。スローガンは目立つが、毎年繰り返しの予算立てにならないよう政策を盛り込んでほしい。

< 3グループ> 報告者 可児慶志 記録者 板津博之

テーマ 「議員の定数と報酬について」

- ・議員のなり手不足ということだが、若い人の参加を考えるなら土日に議会を開催することもいいのではないか。
- ・報酬については、議員（議会）がどういう活動をしているか知らないので何とも言えない。
- ・現状の議会に魅力がないのではないか。だとすれば現状をどう変えるのかを考えた方がよい。
- ・定数減して報酬増でいいと思う。
- ・議会は監視と評価に専念すればよい。
- ・市民が議員の報酬を決められるようにしてはどうか。
- ・活動している議員には政務活動費を多くしてもいいと思う。

『総務企画委員会所管分』

「東美濃ナンバーについて」

- ・可児市議会は東美濃ナンバー実現協議会から脱退し、30年度予算で協議会の負担金を削除し、観光費を増額した経緯などについて説明し、賛同していただけた。
- ・可児はもともと中濃地域なので、「東美濃」という名称には違和感がある。
- ・岐阜県（行政）の圏域のくくりが中途半端ではないか。

「岐阜医療科学大学について」

- ・今回定員オーバーで薬学部の申請が出来なかったことについては、大学に対する信用を失墜させることである。
- ・来年定員オーバーにならないという保証はないので不安だ。
- ・行政（可児市）や議会としても今後しっかりと注視（監視）していただきたい。

『建設市民委員会所管分』

「大森ファミリーマートの交差点について」

- ・現状では交差点がどのような構造になるかわからないが、右折車線は必ず作って欲しい。

「市道 27 号線について」

- ・舗装がかなり劣化してきているので補修をして欲しい。
- ・田白交差点～大森新田までの道路の拡幅はいつやるのか。
現在、用地買収が滞っていて柵上げになっていると回答。

「陳情に対する行政の対応について」

- ・以前、多治見市に水道の止水栓の件で陳情したが対応が遅かった。
可児市は対応が早いので有難い。

「街路樹の植樹について」

- ・桜ヶ丘外周道路の一部で街路樹が欠けている箇所があるので植樹をして欲しい。
地域住民の同意がないと進まないの、地元の総意として自治会要望を出した方がよい、と回答。

< 4 グループ > 報告者 野呂和久 記録者 田原理香

テーマ 「議員の定数と報酬について」

- ・議員のなり手不足ということだが、まずは政治に関心をもってもらうことが大切。
- ・議会開催日を考える。行きやすい時間帯の設定を。例えば、土日や祭日、夜間にやったらどうか。
- ・サラリーマンがやれるようにする。
- ・ヨーロッパを参考にしてほしい。
- ・議案が争点になるものは、開催日を考えて、できるだけ、市民が傍聴できるように工夫してほしい。
- ・傍聴者は特定の方になっている。話し合いを聞く機会を保障することは、民主主義の基本である。
- ・議員の活動が見えてこない。
- ・議員活動している人としていない人との差があるのではないか。
基本給 20 万円にして、一般質問すると 5 万円足すとか、歩合制にしたらどうか。
- ・一般質問について、何回したのか是非データ化して公表してほしい。議会改革は、まず自分たちの改革をすることが大事。給料を上げるのはそれからだ。
- ・議員は自由業である。生活のためではない。
- ・定数について・・・岐阜は 11,000 人に一人、大垣は 7,300 人に一人にな

っている。よって可児は、5,000人に一人くらいにして、せいぜい20名が妥当ではないか。

『総務企画委員会所管分』

「可児の特産品について」

- ・可児にはこれといったものがない、何がヒットするかわからない時代である。業者に任せるだけでなく、若い人を交えてアイデアがだせないか。また、アピール不足であるし、センスがない。

「期日前投票について」

- ・他所ではデパートでもできるようにしている。大型スーパーなど多くの市民が投票できるよう考えてほしい。

『建設市民委員会所管分』

「可児市内道路交通網について」

- ・駅前に子育て拠点施設ができたが、どうやっていくのか。中心を作ったら中心をつなぐことが大切。さつきバスでは時間がかかりすぎる。
- ・駅前開発にこれまで100億円、建物に40億円かけてきている。これだけ多くの税金が使われた建物である。多くの市民が如何に活用できるかを考え、取り組むべき。
- ・長期的な視点で少しずつ交通網を整備して行ってほしい。

『教育福祉委員会所管分』

「国民健康保険について」

- ・国民健康保険の赤字の原因に一部外国人の医療費によるものでもある。知っていて、政府は直せないでいる。議会も同じこと、おかしいと思ったことはどんどん取り組んで行ってほしい。

『その他』

「議会報告会について」

- ・議会報告会ではしっかりテープに録音してほしい。また、議員は自分のテーブルだけでなく、他からどんな意見がでたのかしっかりと聞いてほしい。

「市長への手紙について」

- ・連絡所におくなどして、気軽に手紙が出せるようにしてほしい。
- ・インターネットでも出せるようにしてほしい。

平成30年5月25日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 桜ヶ丘地区センター会場 班長 板津博之

